

# 商工会連合会報

第492号

平成25年3月1日  
(昭和45年12月3日 第3種郵便物認可)

○発行所 秋田県商工会連合会 〒010-0923 秋田市旭北錦町1番47号 秋田県商工会館内 電話018-863-8491(代)  
○購読料・1部10円(会費に含む)/各奇数月1日発行

## 事業評価研究会開催

### 評価結果は次年度計画に反映させます



開会挨拶を行う松橋県連専務理事



座長を務める伊藤北秋田市商工会長



### シリーズ秋田の偉人たち vol.24

【森川 源三郎】(もりかわ げんざぶろう)  
秋田市出身 <1845年～1926年>

#### 農業経営の近代化に尽くす

県第1大区4小区勸業係となり、第1回種子交換会を成功させる。県植物自由試験場担当人として、畑作・果樹園芸の品種改良、栽培奨励に成果を上げる。県農会を組織し、県農会長。明治期の代表老農と称えられる。



画像提供：秋田市総務部 文書法制課

### CONTENTS

- 事業評価研究会開催 ..... p1
- 昨年に引き続き事業評価研究会を開催 ..... p2
- 平成24年度商工会女性部員セミナー（商工会女性部の日）  
商工会事務センターが稼働します ..... p3
- 北部指導センター移転のお知らせ  
ネットde記帳 インターネットで楽々経理  
第14回商工会青年部全国大会（徳島大会） ..... p4
- 第19回東北六県・北海道商工会青年部員交流研修会  
知ってる？  
秋田県商工会地域景況判断ボード ..... p5
- 県内商工会の地域貢献事業紹介 ..... p6
- 商工会新会員紹介コーナー ..... p7
- 独占禁止法相談ネットワーク  
使用者による障害者虐待をなくそう！  
おらほのまちの人 ..... p8

## ● 昨年引き続き事業評価研究会を開催 ●

2月4日（月）、秋田ビューホテルにおいて事業評価研究会が開催されました。

この事業評価研究会は、外部の学識経験者の方々から、県連合会と商工会の重点事業の取り組み状況について評価していただき、その結果を次年度計画に反映させることで、より事業の実効性を高めていくことを目的としております。

本研究会では、はじめに商工会組織の事業概要を説明した上で、県連合会の重点事業（①利益創出支援、②商工会フェア、③経営の情報化支援）と、各商工会の活動状況（①企業支援、②地域活性化事業）について報告をした後、意見交換に入りました。

出席者からは主に次の貴重なご意見やご指摘がありました。

### 【利益創出支援】

- ・単年度事業で終わるのではなく、中長期的な支援が必要である。
- ・成功事例と目標に達しなかった事例の分析が必要である。
- ・報告会、WEB、事例集などにより対外的に発信すべきである。

### 【商工会フェア】

- ・フェアの前に売れる商品について指導を行うべきである。
- ・年1回ではなく、数回行ってもいいのではないか。
- ・テナントミックスを考えるべきである。

### 【経営の情報化支援】

- ・売上管理なども付加できないか。そうすれば売れ筋商品なども把握できる。
- ・個々の商店が連携し商品をネット販売する仕組みを考えていただきたい。

### 【商工会の企業支援】

- ・企画提案型事業について選考委員に成果も報告すべきである。

### 【その他】

- ・事業承継や事業継続対策を講ずるべきである。
- ・農業者支援、六次産業化支援が必要である。
- ・単会ごとにアクションプランを策定し、次の活動につなげていくことが必要である。
- ・商工会は頑張っているが外部環境が悪くなっている。そのため、他機関と連携し外部環境を改善していく必要がある。
- ・様々な良い事業を行っているが外部に発信しきれしていない。県連、商工会単位で検討していかなければいけない。



## 平成24年度商工会女性部員セミナー(商工会女性部の日)

県連合会と県女性連主催による女性部員セミナー（商工会女性部の日）が1月23日に、秋田ビューホテルを会場に開催され、全県から80名を越える女性部員が一堂に会しました。

今回のセミナーは、これから行われる大型観光キャンペーンに向けて、「おもてなし隊」の活動強化を目的としており、第1部では、県観光振興課観光キャンペーン推進班副主幹小川 純氏より『大規模キャンペーンについて』と題して、デスティネーションキャンペーンや国民文化祭についての実施内容や県内にもたらす経済効果などを講義していただきました。

第2部では、フリーアナウンサーの綿引かおる氏を講師に迎え『はつらつ接客講習～おもてなし会話術～』と題して、接客の際に覚えておきたい2つの法則について講義していただきました。

日頃から接客に携わることの多い女性部員ですが、皆さん手鏡に向かって笑顔づくりや声の出し方を学ぶなど、好印象を与える接客の基本について真剣な表情で取り組んでいただきました。

セミナーの受講を通じて更にスキルアップした「おもてなし隊」は、今後県内各地で「おもてなし」をアピールし、秋田県のファンづくりに貢献してまいります。



受講する県内各商工会の女性部員



DCについて講演する  
県観光振興課の小川純副主幹



綿引先生のおもてなし会話術

# 商工会事務センターが稼働します

秋田県商工会連合会では、時代にふさわしい商工会づくりのために、平成二十二年度から組織改革のための「商工会合併」に取り組みとともに、平成十七年からは人材改革のための「トータル人事管理制度」の導入と、構造改革のための「補助対象職員適正化計画」を進めてまいりました。

最近の商工会地域における事業者を取り巻く環境は激しく変化してきており、商工会に対する事業者ニーズも多様化、かつ、多量化してきています。

その様な中で、限られた人員で事業者ニーズに対応した支援機能を発揮するためには、各商工会に共通する定型的な業務を効率的・一元的に事務処理することにより、それらの業務に関する職員の負担軽減を図り、そのマンパワーを直接的な支援・指導業務に振り向ける必要があります。

そのために、平成二十五年四月から県連合会に商工会事務センターを開設し、

各商工会の共通する定型的な業務を商工会に代わって一括処理することとしました。

これまで、県連合会事務局内にプロジェクトチームを設置し、経営支援員トツプランナーの協力も得ながら開設に向けた準備を進めてまいりました。

開設初年度では、職員に対する給与の支払いに関連する業務からスタートし、その後、平成二十八年度までに取扱い業務を徐々に拡大していく計画です。

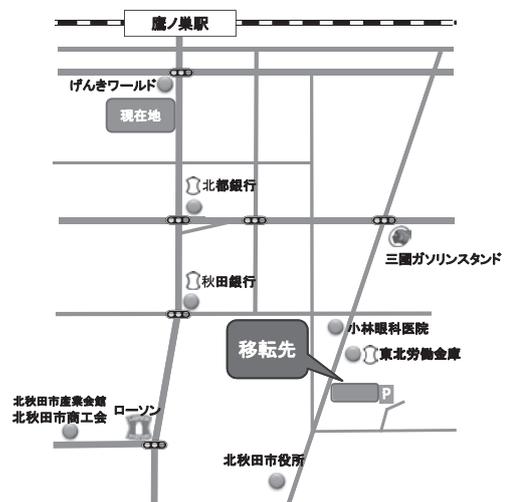
昨年八月に施行された中小企業経営力強化支援法により、これからの商工会は様々な支援機関と協力・協調・競争しながら、事業者の経営状況の分析と経営改善計画の策定・実施に関する指導・支援を通して、これまで以上に事業者の経営力の強化に貢献していかなくてはなりません。

そのために、商工会事務センターの果たすべき役割は大きなものがあります。

## 北部指導センター 移転のお知らせ

北部指導センターは、4月1日に現在の場所（北秋田市松葉町）から、北秋田市役所本庁舎近くに移転します。新たに来訪者用駐車場を確保し利便性の向上を図りますので、お気軽にお立ち寄りください。

- 新住所  
〒018-3313 北秋田市旭町4-31-1
- 電話 0186-67-8160
- FAX 0186-62-1355  
(電話・FAX番号の変更はありません)



## ネットde記帳 インターネットで楽々経理

商工会が推奨するASP経理システム

# ネットde記帳

インターネットで  
**楽々**  
経理  
しませんか?

セキュリティや  
データ保護も安心  
税制改正等にも  
すばやく対応

ネットde記帳は、  
経理業務の負担を軽減する  
新しい経理システムです!!

詳しくはネットで!! <http://www.shokokai.or.jp/kicho/>

商工会がサポート  
インストールや  
バージョンアップ不要  
所得税・消費税申告書  
に対応

## 第14回商工会青年部 全国大会(徳島大会)

平成25年2月6日、7日徳島県徳島市の「アスティとくしま」において、「第14回商工会青年部全国大会」が開催され、全国から約2,500名、本県からは22名の商工会青年部長等が参加しました。

大会では、組織及び事業推進について優秀な青年部に対し全国大会顕彰が授与されたほか、参加者間のビジネスチャンス創造の場として商人(AKINDO)商談会が開催されました。

また、大会では主張発表全国大会も開催され福岡県青連八女市商工会青年部山口智臣さんが最優秀賞に選ばれました。



商工会青年部全国大会の様子

## 第19回東北六県・北海道商工会 青年部員交流研修会

東北六県・北海道商工会連合会連絡協議会・青年部連合会連絡協議会主催の標記大会並びに主張発表大会東北・北海道ブロック大会が平成24年10月17日に岩手県の「盛岡グランドホテル」で開催されました。

主張発表大会では、秋田県代表として澁谷デザイン事務所の澁谷和之さん(美郷町商工会青年部監事)が出演。「青年部活動と地域振興まちづくり～まちにきづく・まちをきづく～」と題し、青年部活動を通じ「自分の町を誇りに思うこと」の大切さを訴えたほか、「地域に当たりまえにある大切なものにきづく、それを守り伝えてゆく」という青年部員としての決意が語られました。

堂々たる態度で聴衆を引きつけ優良賞を受賞しました。



秋田県代表の澁谷和之さん



大会終了後に記念撮影



## 1億円の重さはどれくらい？

秋田県商工会連合会 囑託専門指導員 武野りつ子氏 寄稿

突然ですが、この質問は小学校で行われる租税教室での1シーン。授業の最後にジュラルミンケースに入った1億円(残念ながらレプリカ)の登場で一気に盛り上がり、重さを体験して終了となります。初めて目にする1億円は、生徒でなくとも好評で、校長先生のはしゃぎ様が一番印象に残った学校もありました。ちなみにタイトルの答えは10kg! 税務署から借りて来ますが、かなり重いです。

ここ数年「租税教育の充実」を目的とした授業が行われるようになり、私も税理士として年に数回、小学校や中学校へ訪問する機会を頂いています。

教材の内容で私が一番関心を引くのは税収の少なさと借金の多さ。国の歳入と歳出を表す円グラフを見ると、税収は歳入全体の約50%しかありません。残りは何かといえば必然的に借金となります。日本では源泉徴収と年末調整で納税が完結する方が多く、納税者意識が低い事を問題視する声もあります。租税教育を充実させ納税意識を高めなければいけないという意図がうかがえます。

日本の借金が100兆円というニュースも聞かれる様

になりました。中学校では24年度の公債残高は税収の17年分であるという事も教えています。ネット上では日本の借金時計が動いており、1秒間に約100万円の早さで借金が増えていく様子が分かります。

個人的には暗い気持ちにもなってしまいそうな授業ですが、税の仕組みや使われ方を知った生徒からは明るい未来も感じられます。小6の生徒からは「小学校に通うのはお金がかからなくて良いと思っていたけど、沢山の税金が使われている事が分かったの、そういう事をちゃんと考えながら生活していきたい。」「消費税が上がるのは嫌だなと思っていたけど、上げなければいけない理由がある事が分かった。」という感想を聞く事ができました。また、国税庁では毎年中高生に対し「税に関する作文」を募集しており、入選作品はホームページ上でも見られます。生徒が感じる税に対する率直な意見は、純粹かつ前向きで感心する内容です。

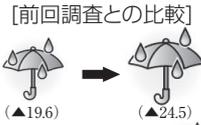
授業のまとめは、税金を一言でいうと「私たちが安全で豊かな暮らしをする為にみんなで出し合う会費」となります。確定申告のこの時期に、みなさんも改めて税金について考えてみてはいかがでしょうか？

# 秋田県商工会地域景況判断ボード

平成24年10月～12月期

**概況** 一部に持ち直しがあるものの、全体的に悪化傾向。

**【全体】** 業況DI値は▲24.5と悪化企業が増加、全地域が悪化傾向にあり、中でも中央部地域が大幅に悪化した。業種別では、製造業及び建設業が改善しているものの、前回調査に引き続き小売業が最も厳しい状況にあり、大手企業の進出、先行き不透明による消費マインド低下が影響している。



## 【北部】

○業況DI値は▲16.0と悪化したと感じた企業が前回調査より2.7ポイント増加した。全項目のDI値がマイナスで推移しているが、特に売上に対して悪化したと感じている企業が多い。  
○来期の見通しは全ての項目でマイナス幅が増加し、悪化傾向にあると予想した企業が多い。特に業況が悪化すると感じている企業が多く、不透明な先行きによる不安感が表れている。

## 【中央部】

○業況DI値は▲34.4と悪化したと感じた企業が前回調査より8.8ポイント増加した。採算・資金繰りは前々回から徐々に持ち直していたが、今回は全項目で悪化傾向に転じている。  
○来期の見通しは全ての項目がマイナスで、売上・採算のマイナス幅が増加している。大手製造業の事業再編による影響や大型ショッピングセンター出店による購買流出を懸念している。

## 【南部】

○業況DI値は▲24.5と悪化したと感じた企業が前回調査より3.9ポイント増加した。全項目のDI値がマイナスで推移し、悪化傾向に転じている。特に資金繰りに対して悪化したと感じている企業が多い。  
○来期の見通しは全ての項目がマイナスだが、採算を除き持ち直す予想した企業が多い。震災復興関連工事受注の影響を挙げている。

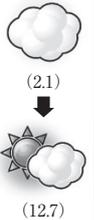
## 【製造業】「ニーズ多様化による利益圧迫」

**■今期の業況** (1年前との比較) DI値は、▲14.1と前回調査より8.4ポイント改善している。需要はあるものの、製品単価の低下や製品ニーズ多様化への対応により利益の確保が難しくなっている。  
**■来期見通し** (3カ月ごとの比較) 売上を除くDI値がマイナスになっており、来期は悪化すると予想した企業が増加した。需要の停滞や製品単価の低下により採算・資金繰りが悪化すると予想した企業が多い。  
**■設備投資** 今期実施件数は9件あり、そのうち生産設備に対する投資が6件ある。また、来期計画件数は3件で、生産設備に対する投資が1件あり、厳しいながらも、受注の見込みがあることがうかがえる。



## 【建設業】「持ち直しの動きが続く」

**■今期の業況** (1年前との比較) DI値は12.7と前回調査より10.6ポイントの大幅な改善傾向にあり、売上・採算・資金繰りも改善傾向にある。リフォーム補助金の民間需要や震災復興関連工事により受注を確保している。  
**■来期見通し** (3カ月ごとの比較) 全てのDI値がマイナスを示しており、悪化傾向にある。官公需要の停滞による競争激化や請負単価の低下により売上・採算が悪化すると予想した企業が多い。  
**■設備投資** 今期実施件数は10件あり、そのうち不動産や建設機械に対する投資が8件ある。また、来期計画件数は7件で、不動産や建設機械に対する投資が5件と、先行き不透明な状況だが、受注の見込みがあることがうかがえる。



## 【小売業】「大手進出影響で低調に推移」

**■今期の業況** (1年前との比較) DI値は、▲58.3と前回調査より12.1ポイント悪化している。大手コンビニチェーン進出や大型ショッピングセンター出店の影響や、景気停滞及び消費増税等の先行き不透明からの消費意欲低下により、他の業種と比べ悪化企業の占める割合が高い。  
**■来期見通し** (3カ月ごとの比較) 全てのDI値が改善傾向にあるものの、マイナス値となっており、依然厳しい状況が続くと予想した企業が高い割合にある。  
**■設備投資** 今期実施件数は6件あり、そのうち販売設備に対する投資が1件ある。また、来期計画件数は4件で、販売設備に対する投資が1件と、先行き不透明な現状に現状設備で対応している企業が多数見られる。



## 【サービス業】「客数減少に不安感」

**■今期の業況** (1年前との比較) DI値は、▲22.1と前回調査より14.4ポイント悪化している。地域の大手製造業やホテルの撤退等による消費冷え込みや客数の減少により、悪化したと感じた企業が多い。  
**■来期見通し** (3カ月ごとの比較) 全てのDI値がマイナスを示しており、先行きの不透明感から、業況・売上について悪化すると予想した企業が多い。  
**■設備投資** 今期実施件数は9件あり、そのうち建物・サービス設備に対する投資が4件ある。また、来期計画件数は8件で、建物・サービス設備に対する投資が6件あり、厳しいながらも、投資意欲のあることがうかがえる。



### 北部トピックス

○10月に八峰町、能代市、藤里町を繋ぐ森林基幹道米代線が全線開通した。沿線の林業振興のほか、観光振興の面でも期待される。  
○夏から秋にかけての大館能代空港の搭乗者数及び搭乗率が減少。公共交通機関も乗客数の減少に伴い売上が減少している。

### 中央部トピックス

○由利本荘市で行われたシェールオイルの実証試験により、国内初の採取に成功し採油の可能性が確認された。平成26年度に試験生産の予定で、本格生産の実現による雇用創出など経済効果が期待される。  
○にかほ市で雇用の受け皿としてコールセンターを誘致し、従業員100人を募集。11月中旬に定員に達する予定で、雇用の改善が図られる。

### 南部トピックス

○JAおばこと北海道の畜産業者が仙北市に県産黒毛和牛の大規模肥育団地を平成25年度に開設、計画では1千頭規模を見込み、レストラン経営も予定。また、来年の秋田県種苗交換会が仙北市で初めて開催されることが決定した。  
○大手コンビニの出店攻勢が続く、小売業は厳しい経営を強いられている。

### 【天気図】前年同期比のDI値をもとに作成



※「DI値」とは、ディフュージョン・インデックス(景気動向指数)の略で各調査項目についての増加企業割合と、減少企業割合の差を示す。

### 【調査要領】

- 調査対象 (1)対象地区:全21商工会地区 (2)対象企業数:294企業 (3)回答企業数:294企業 (回収率:100%)
- 調査対象時期 平成24年10月～12月期を対象とし、調査時点は平成24年11月15日とした。
- 調査方法 (1)商工会の経営指導員による訪問面接調査 (2)調査対象企業の抽出は「中小企業景況調査実施要領およびマニュアル」による。
- 調査対象企業数内訳

業種	対象企業数			合計
	北部	中央部	南部	
製造業	22	18	23	63
建設業	18	13	17	48
小売業	25	28	26	79
サービス業	41	31	32	104
合計	106	90	98	294

- その他
- 本報告で使用するDI値とは、前年同期の景況を基準にして各調査項目で増加または減少したと答えた企業の割合を算出した値である。今回調査の前年同期とは平成23年10月～12月期、前期とは平成24年7月～9月期、来期とは平成25年1月～3月期のことをいう。
- 本報告で主に使用する調査項目は、業況・売上・採算・資金繰り、設備投資の状況、経営上の問題点とした。

# 県内商工会の地域貢献事業紹介

## 上小阿仁村商工会(県北地区)

### 事業名 上小阿仁村食農観まると推進協議会

#### 1 事業内容

着地型、体験型観光で商品化が進んでいない地域に、人を呼び込む仕組みづくりを県と村で考えるという目的のもと設置され、会長を上小阿仁村 中田吉穂村長に就任してもらい設立しました。参加団体は北秋田地域振興局、上小阿仁村、上小阿仁村商工会、上小阿仁村観光協会、そしてかみこあに観光物産(株)です。大きな柱として①誘客促進事業②受入体制構築事業の2本を目的としております。

(1) 誘客促進事業として体験モニターツアーや道の駅かみこあにでご当地グルメ秋まつり、そして道の駅かみこあに内の4テナントによる収穫御膳2012ウィークなど開催。

(2) 受入体制構築事業として、主に観光案内人育成事業を中心に活動。育成研修会や観光案内の先進地視察及び講習会を開催。案内人候補として自薦及び各団体推薦の約15名が参加。先進地視察研修として小坂方面へ行き、小坂町観光案内人協議会と案内人について講和、研修を行いました。その後2回研修会を重ね、今年度は終了となりましたが、来年度も引き続き事業を継続し観光案内の形を確立していく方向であります。



ごっつおフェア



体験モニターツアー

#### 2 事業の効果

上小阿仁村内の方だけでは人口減少及び高齢化により、流通の観点から限界があるため村外からの誘客が必要不可欠である。本協議会は、いかに村へ人が入ってくるかを考え、また村外客の誘客増員と現地村のおもてなし体制の向上に繋がるよう仕掛けることにより、総じて交流人口の増加に期待ができます。

## 河辺雄和商工会(中央地区)

### 事業名 まるとJANGO体験プロジェクト(企画提案型事業)

#### 1 事業内容

平成19年度の全国展開支援事業を契機に「まるとJANGO河辺雄和」のキャッチフレーズのもと、ブランドの確立と認知度の向上を目指してきた。今年度はJANGOのロゴマークをピンバッジ化し、河辺雄和地域にゆかりのある人たちにJANGO応援隊としてピンバッジを購入してもらい、JANGOの宣伝効果の拡大を狙った。また、JANGO発の特産品を全国へ広めるための足がかりとして、お歳暮シーズンに河辺雄和地域の特産品12品目を詰め合わせた「まるとJANGO便」を100セット限定で販売した。

さらに、体験型観光スタイルを確立させ、交流人口の増大を図るため、「まるとJANGO体験ツアー」を実施した。この体験ツアーは地域のアーティストと連携したもの作り体験教室の開催、自然散策や農業体験など、地域の魅力を余すことなく盛り込み、多くの人が河辺雄和地域に興味を持ち、親しみを持って日常的に訪れるきっかけづくりとなった。



まるとJANGOピンバッジ

#### 2 事業の効果

今回試作として「まるとJANGO便」を販売し、利用者からアンケートを回収したところ、地域ならではの商品に対する独自性や意外性を求める消費者の期待や関心の高さが感じられたほか、今後に期待する声も多く寄せられた。また、「まるとJANGO体験ツアー」の参加者が、JANGO便の購入者にもなっていることから、観光、食、特産の一体化が図られるなどPR効果が現れ始めている。



まるとJANGO便

## よこて市商工会(県南地区)

### 事業名 「中華そば&らーめんの街・十文字」PR事業

#### 1 事業内容

平成24年から3年間、「東北観光博覧会」、「J」R DESTINATION キャンペーン、「国民文化祭」と全国規模の大型イベントが目白押しに実施され、県内外から多くの観光客の入り込みが見込まれます。

これをビジネスチャンスととらえ、よこて市商工会では県の企画提案型事業を活用して「中華そば&らーめんの街・十文字」PR事業に取り組んでいます。

昔ながらの味で親しまれている「十文字の中華そば」は、「あっさり」「醤油味」「縮れ麺」で十文字地区の「食文化」を代表するものです。「十文字の中華そば・らーめん」の美味しさを紹介し、認知度を高めながら、地域ブランドの向上を図ります。

PRツール(ポスター、ガイドブック、店舗用のぼり、イベント用横幕、HP)により、「中華そば&らーめんの街・十文字」の魅力情報を発信し、誘客につなげたいと思います。

「川柳コンクール」も開催し、一杯のらーめんにちなんだ川柳を募集しました。らーめんにまつわるエピソードが川柳として県内外(遠くは、神奈川県、島根県)から寄せられました。審査会で選出された優秀作品は、らーめん店やHPで紹介しております。川柳を通じて「十文字の中華そば・らーめん」のファンが増えてくれれば幸いです。

アピールキャンペーンは、「全県商工会おもてなしまつり」、仙台市おおまち商店街でのイベントに参加致しました。また、J R 東北地区の主要駅、東北地区の道の駅などにポスター掲示とガイドブックの配布を行い、広範囲にPR活動を実施しました。

ご当地らーめんとして「地域のイメージアップ」に貢献できるように、関係各位のご理解とご協力を得ながら、今後もPR活動を継続していきたく思います。

HP [『中華そば らーめんの街 十文字』](#) で検索



ガイドブックの表紙



川柳コンクールのチラシ

# 商工会新会員紹介コーナー

新たに県内21商工会の会員となられた皆様を紹介します。

## 上小阿仁村商工会

企業名：たじゅうろう  
 代表者名：鈴木 孝明  
 所在地：〒018-4431  
 北秋田郡上小阿仁村大林字村廻14番地  
 連絡先：TEL&FAX 0186-77-2882、  
 090-2360-0960

新会員から一言：昨年「水耕栽培」に取り組み、安全安心な作物づくりを実践中。レタス、わさび菜等のほかに、上小阿仁村特産の「食用ホオズキ」を試験栽培し、年内には2棟目のビニールハウスを建て

規模拡大予定です。春からはズッキーニ、スイートキャロット、食用ホオズキ、カボチャ等の無農薬露地栽培と、自作ミニハウスでトマト等のハウス栽培など多忙なアグリライフを実践しながら「わからない中でベストを探し」「家族共栄と人をちょっと幸せにする」事を生き甲斐とします。SHIFTのホームページ見てネ！



## 河辺雄和商工会

企業名：カボチャ  
 代表者名：藤原 暁峰  
 所在地：〒019-2601  
 秋田市河辺和田字坂本北480-1  
 連絡先：TEL&FAX 018-893-3280  
 ブログ：<http://ameblo.jp/swmkb767/>  
 新会員から一言：昨年11月に薪窯ベーカリー（カボチャ）として秋田市河辺に開業しました。岩見三内産の薪を燃料にして石窯でパン

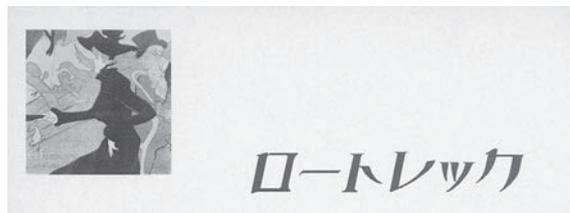
やケーキ、焼き菓子を焼いています。パンは長時間発酵させたハード系が得意です。



## よこて市商工会

企業名：スナック ロートレック  
 代表者名：布川 敬子  
 所在地：〒013-0105  
 横手市平鹿町浅舞字蔭沼163  
 連絡先：TEL 0182-24-3260  
 新会員から一言：昨年4月にオープン致しました。店名のロートレックは、私の好きな画家の名前からいただきました。店内にはロートレックの絵を数点飾り、気品と雰囲気とを大事にしつ

つも気さくなお店を心掛けております。お近くにお越しの際は是非お立ち寄りください。



## 使用者による 障害者虐待をなくそう!

障害者虐待防止法が10月から施行されました。

障害者虐待を防止するため。障害者を雇用している事業主の皆さんは、従業員に対する研修や苦情処理体制の整備が必要です。

実際に、障害者虐待を受けたり、発見したら、市町村の対応窓口へ連絡してください。

詳しくは秋田労働局企画室(018-883-4254)までどうぞ。

## 独占禁止法相談ネットワークのご利用をお待ちしています

県内各商工会では、独占禁止法及び下請法の相談を受け付けております。内容、御希望により公正取引委員会の窓口を御紹介します。

### このようなことでお困りではありませんか？

- ◆マーケティングの内容が独占禁止法に違反？
- ◆取引先が代金を一方的に減額している。買ったときに違っている。下請法違反行為じゃないの？

- ◎お近くの商工会
- ◎県商工会連合会  
 南部指導センター TEL0182(32)7156  
 北部指導センター TEL0186(67)8160  
 中央部指導センター TEL018(863)8945
- ◎公正取引委員会事務局  
 東北事務局 TEL022(225)7095

お問い合わせはこちら



## ■ 齋藤団四郎種苗店 代表 齋藤 伸 二



92



### 【家業を継ぐ】

平成元年に事業専従者として家業に携わり25年になります。平成21年に商工会の指導を仰ぎ父より事業を承継し、今年で5年目を迎えました。

当店はその名のとおり種苗店です。野菜や花の種・苗・生産資材を取り扱っております。

当時は何をすることも全く分からず失敗の繰り返しで、今思うと赤面してしまいます。

このままではいけない、と奮起したのは20代の半ばでした。

取引先の講習会や農場研修会等には積極的に参加し、また、お客様自身も長年農業を経験されている方々が多く私にとっては、お客様からも良い勉強の機会を得ました。お客様から育てていただいた、と云っても過言ではないと思います。その後、この地域の気候にあった野菜や花の品種を取り入れ、そのノウハウを紹介し、地元のプロデューサー・JA・種苗店の三者が一体となり、花苗等の産地化に取り組んで来ました。

### 【出前商店街のこと】

にかほ市商工会では、平成22年度より「おらほのふれあいべり市 出前商店街」事業を月2回のペースで開催しております。

買い物が困難になってきている高齢者の多い地域に、それぞれの業種のお店が、食料品・衣料品・日用品等を持ち寄り、店を開きま

す。

にかほ市は、海辺から鳥海山の麓まで集落が点在し、中心部のお店までの交通手段がなかったり、遠出できなく不便を来している方々が多くおります。商工会の協議会で、ならば「お店の方から出向けば良いんじゃない!!」と商工会が主導し『出前商店街振興会』を設立、一加盟店として当初から参加してきました。

最初は、手探り状態で、採算も度外視。それでも「継続は力成り」と、商工会や加盟店皆さんの努力と責任感で、年々この事業も認知され、各地域のお客様より好評を得ております。お客様とのふれあいと笑顔の会話が、商売を忘れての、心穏ひと時です。



### 【経営方針のこと】

スーパーの店頭で置かれたキャベツ・トマト・ネギや切花、花苗等々。きれいで美味しそうに見えます。ここまで立派にするために生産者は、どれ程の苦勞と経費をかけていることでしょうか。

私達種苗店は、種子を売るときその品種の特長や耐病性等を説明して販売します。

同じ種子を蒔いても、良くできる農家や失敗する農家、様々あります。失敗の原因には、何んらかがあるはず、と良く聞いてみると「なるほど」と、原因がわかり、次回に繋がるように説明しています。そして丈夫に良くできた話を

聞くと、やはり遣り甲斐を感じます。

農業は自然相手。天候の変化に機敏に対応しなければなりません。種一粒から栽培し、収穫・出荷まで手間暇の掛かる大変な仕事だと感じております。

取引先や市場の関係者などからも協力を頂き、種苗店は、生産者の身近な存在でありたい。生産者の声に何時でも応えられるよう、人との繋がりを大切に経営を成していきたいと思っております。種苗商は、流通の原点の商売。”縁の下の力持ち”を座右の銘とし、今後もお客様のニーズに応え、地域の農業を応援して行きます。

### 【終わりに】

団四郎家は、250年以上になります。昔、お婆さんが種などを背負って売りに歩いた、と聞いております。先祖代々、苦勞して守ってきて現在があるのです。

ご先祖様に感謝の気持ちを忘れず経営し、次代に繋ぎ恩に報いたいと思っております。



### 齋藤団四郎種苗店

〒018-0402 にかほ市平沢字中町92  
電話番号 0184-35-3452  
URL <http://www.shokokai.or.jp/05/0540111312/index.htm>